

# 愛媛県看護協会 助産師職能委員会

## ニュースレター

## 第5号

### 目次

1. 研修報告：「助産師交流集会～切れ目のない母子支援～  
地域母子保健活動を知り助産師の役割を考える」  
「多施設合同新人助産師研修」
2. 活動報告：看護の出前授業 ～愛媛県立松山聾学校へ性教育講演会～
3. 知っていますか？子ども家庭庁～伴走型相談事業～
4. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報
5. 助産師職能委員 リレー寄稿  
原稿募集中！入会手続きのご案内 編集後記



謹賀新年  
今年もよろしくお過ごしください

2024

今年は辰年、愛媛県の助産師  
一致団結して飛躍しよう！

### 1. O3職能交流 助産師職能交流集会

～切れ目のない母子支援～地域母子保健活動を知り助産師の役割を考える～



今治市役所ネウボラ政策課:太田さん(左)  
県立中央病院公認心理師:平野さん(右)

助産師職能交流集会在令和5年10月28日(土)に開催され、テーマは「切れ目のない母子支援-地域の母子保健活動を知り助産師の役割を考える」でした。今治市役所のネウボラ政策課より保健師の太田いつみさん、愛媛県立中央病院から公認心理師の平野美輪さんを講師としてお招きし、実際の取り組みを聞くことができました。「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスの場所、相談の場所」という意味であり、日本でも現在、妊娠から出産、子育てを切れ目なくサポートする仕組みとして、2017年に「子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)」が法定化されています。今治市のネウボラ課には助産師も配属されており、妊婦への支援としてバースプランで「どのようなお産にしたいか」など、出産へ意識を向けてもらうなかかわりができないかと研修を企画していることを知り、助産師の活動の場が広がっていると感じました。平野さんは公認心理師の視点で、妊産褥婦への精神的な支援方法について、すぐにも実践できる関わり方について紹介され、現場で役立つ情報が多かったです。「死にたい」という人は死なないということを知りました。対象に共感し、そばで支援することの大切さを知る良い機会となりました。母子支援に関わる様々な職種の方からの貴重なお話を聞ける交流集会であり、次年度は、是非もっと多くの方に参加してもらえたら嬉しいです。(赤穂静香)

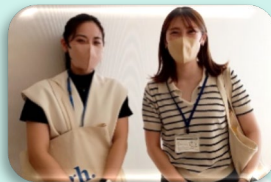


### ○研修報告 多施設合同新人助産師研修会 第1回目 2回目 絶賛好評開催中！！

第1回目9月29日・第2回目11月24日に開催されました。今年は18名の新人助産師が集合し共に学んでいます。4月からの成長をお互いに確認し、共に学びました！仲間を作り一歩一歩進んでいきましょう。



第1回目：「助産師クリニカルラダーの基礎知識」  
宮崎大学 関屋先生 と「私の助産師キャリア開発」のグループディスカッション発表



「私の助産師キャリア開発」  
《先輩のお話》  
ありがとうございました。  
市立宇和島病院：中山さん(左)  
四国中央病院：米田さん(右)



第2回目：  
妊娠・分娩・産褥期の診断とケアと新生児のフィジカルアセスメント



徳島大学：葉久先生



県立中央病院：新生児集中ケアCN  
西田先生



県立中央病院：新生児集中ケアCN  
谷先生

シミュレーショントレーニング！



## 2. 活動報告 看護の出前授業 ～愛媛県立松山聾学校への性教育講演会～



松山赤十字病院：  
田崎加代子助産師

令和5年9月15日に愛媛県立松山聾学校の性教育講演に、松山赤十字病院 助産師田崎加代子さんに出前授業を行っていただきました。「私にとって、聾学校での授業は初めての経験でした。不安もありましたが当日は10人近くの先生方が、手話通訳とモニター通訳を担当してくださり、心配なく授業を行うことができました。対象が聴覚障害を持つ中高生であったため、媒体も視覚的に訴えるのに工夫しました。様々な障害を持つ対象への性教育について深く考えさせられました。私個人にとって貴重な機会となり学びを深める経験となりました。」との感想を頂きました。対象のニーズに対応できるような助産師活動を考えていく必要性を感じました。ありがとうございました。

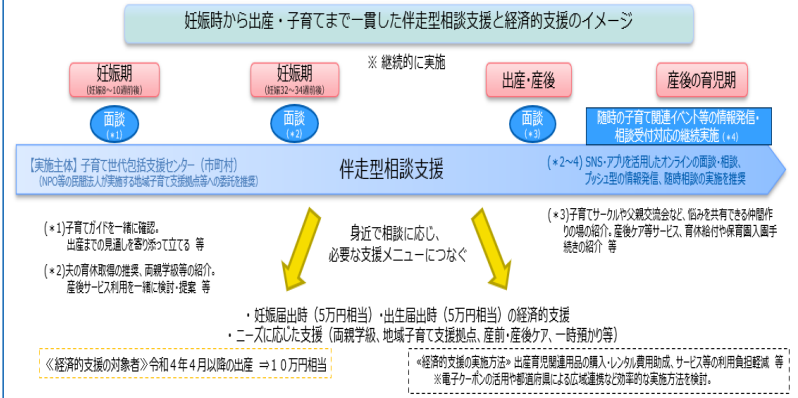


## 3. 知ってますか？「子ども家庭庁～伴走型相談事業～」

子ども家庭庁HPを是非ご覧ください。

### 2. 事業の内容

〇 市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援(計10万円相当)を一体として実施する事業を支援する。



### 3. 実施主体

市区町村(民間等への委託も可)

### 4. 補助率

令和4年度第2次補正予算 国2/3、都道府県1/6、市区町村1/6 ※システム構築等導入経費は国10/10  
令和5年度当初予算(案) 〇伴走型相談支援 国1/2、都道府県1/4、市区町村1/4  
〇経済的支援 国2/3、都道府県1/6、市区町村1/6 ※クーポン発行等に係る委託経費は国10/10

出典：子ども家庭庁内 HP伴走型相談事業： 出産・子育て応援給付金及び産婦等に対する伴走型相談支援の制度化について 一部参考

「伴走型相談事業について：全ての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで、身近な伴走型の相談支援(※)と経済的支援を合わせたパッケージとして充実し、継続的に実施する。経済的支援を伴走型の相談支援と組み合わせる形により、相談実施機関へのアクセスがしやすくなり、結果的に必要なサービスに確実に結びつき、事業の実効性がより高まる。」

(※)実施主体は子育て世代包括支援センター(市町村)(NPO等の民間法人が実施する地域子育て支援拠点、保育園等への委託も可能) SNS・アプリを活用したオンライン面談・相談も可。産後の育児期にも、子育て関連イベント等のプッシュ型の情報発信、随時相談対応の継続実施。>

HPには助産師活動に参考となる様々な情報があります。厚生労働省から母子支援活動に関する情報が移動されており、こどもまんなかの視点での情報発信となっています。皆様も是非参考にしてください。

## 4. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報 (2024年1月～)



月日	学会・研修会名	会場
1/26・27	日本周産期・新生児医学会 第42回周産期学シンポジウム	つくば国際会議場
2/10・11	第29回日本SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会	北九州国際会議場 国際会議室
2/13～3/13	第5回子育てに寄り添う支援者応援セミナー～ことばの発達編～(WEBセミナー)	一般社団法人日本家族計画協会



## 5. 助産師職能委員会リレー寄稿 ほぅ～そうやったん～



### 「安産祈願」

安産祈願とは、母子ともに健康に出産できるよう神社へご祈禱に行く風習のことを言います。もともとは皇室や武家が行っていた儀式で、一般に広まったのは江戸時代からといわれており、500年以上も続いている日本独自の風習になります。

#### 栴檀山 教王院 香園寺 子安大師

せんだんさん きょうおういん こうおんじ こやすだいし  
四国第六十一番霊場 西条市小松町南川甲19

県内で安産にご利益があると言われているお寺の1つです。飛鳥時代、聖徳太子が第31代用明天皇の病氣平穩を祈願して創建したとされる歴史のあるお寺です。平安時代に弘法大師がこのお寺を訪れた際、山の麓で難産に苦しむ妊婦に出会い加持祈禱をしたところ、無事元気な男児が誕生したという言い伝えから安産祈願の神社として信仰されています。

境内には子安大師堂があり、背中にゴザ、右手に錫杖、左手に赤ん坊を抱いた弘法大師の像が祀る唯一無二のお寺です。(三浦恵理子)



桃缶+トラウベ は助産師の必須道具でした。

### 「妊娠暦速算器」について



出産予定日とは最終月経から「正常妊娠持続日数は280日、妊娠継続を40週とする」という定義で算出され、昔から助産師や保健師は簡単な「妊娠暦速算器」という金属性の計算尺を使用してきました。日本における妊娠暦速算器の歴史は古く、明治41年に当時の産科学の大家、榊順次郎博士の考案によって特許9112号を取得したものがはじまりだそうです。真鍮製ニッケルメッキ容器の側面に片方は一年のカレンダーを刻み、片方には最終月経からの経過月数・日数と経過週数を刻んだものです。

両シリンダーを相互に回して最終月経日に経過日数の基線を合わせると40週目の基線が出産予定日がわかるという単純な仕組みで、経過日数もわかるので健診日などの指定にもいちいちカレンダーで日数を数えなくてもわかるというまさに速算器です。中は完全な容器になっていて、巻尺などを納めるために使用していたようです。「桃太郎」や「桃缶」と呼ばれていました。(高石留美子)



### 2023年度の助産師職能委員会

今年の愛媛県看護協会助産師職能委員会では「周産期のメンタルヘルスケア」をテーマに活動しました。メンタルヘルスに問題を持つ妊産褥婦のケアをするため、必要な基礎知識を学びました。また交流集会では、臨床心理士さんから「心のケア」について学び、地域の保健師さんから「伴走型相談事業」の活動展開を教えてくださいました。地域と施設を繋ぐため、看護職として、助産師としてどのような活動をしていけば良いのか、3職能で交流し情報収集や意見交換を行いました。一人一人の助産師として、「気づき、つないで、ささえる」ことを、今自分のいる場所考えて、ひとつからでも何か課題に向かい実践できればと願います。

次年度も委員会では興味を持っていただけるような研修企画を考えております。どうぞ奮ってご参加ください、お待ちしております。

36年ぶりに新人時代に使用していたトラウベが私の手元に帰ってきました!! 嬉しかったです。(嶋屋)

ニュースレターを通じて実践活動や求人などの情報を共有しませんか? 掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2024年6月末日です。

### 愛媛県看護協会に入会しませんか?

助産師間で知識と経験を共有し、母子に向けて質の高いケアを提供しませんか? また**日本看護協会の看護職賠償責任保険制度は院内助産システム**にも対応しており、日々の看護業務で起こりうるトラブルやリスクから守る制度があります。(パンフレット参照) 入会を希望される方は、下記までご連絡ください。お待ちしております。

公益社団法人愛媛看護協会

事務局 E-Mail [nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp](mailto:nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp)

編集後記: 明けましておめでとうございます。2024年のスタートです。今年は辰年です。「たつ」年は植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていき、今までの努力が実を結ぶ年と言われています。さまに「飛躍」の年ですね。皆様もそれぞれの場で今年も元気に、そして「飛躍」されることを祈っております。(嶋屋順子)

